

あべのハルカスに日本最大級のメディカルフロアが誕生します

～中核施設に大阪市立大学医学部附属病院の「先端予防医療センター」（仮称）を誘致～

近鉄では、平成26年春のオープンを目指し、高さ日本一となる300mの超高層複合ビル「あべのハルカス」（地下5階、地上60階）の建設を鋭意進めています。

このたび、「あべのハルカス」が持つターミナル立地による高い利便性と、最新鋭ビルならではの高度な安全性を活かせる施設として、オフィス部の21階、22階、合計約1,200坪のスペースに複数の医療機関を集めた、オフィスビル内の医療施設としては日本最大級の「メディカルフロア」を設けることとしました。

この「メディカルフロア」の中核施設には、大阪市立大学医学部附属病院の「先端予防医療センター」（仮称）が決定いたしました。

大阪市立大学医学部附属病院の「先端予防医療センター」（仮称）は、21階、約530坪の施設展開を計画しており、「予防医療」や「先制医療」を切口に、大学病院の豊かな人材と高度先進医療を活かして、地域医療機関と連携しながら5大疾病、生活習慣病や肝臓病などの早期発見と早期治療を目的とする健診ゾーン、大学病院本院との連携のもとニーズが高い特色のある診療を行うゾーン、および市民の健康増進に関する啓蒙活動や健康相談窓口など、様々な高次機能を持つ「健康インフラ拠点」を創出します。

このほか、21階および22階の約670坪の専門医スペースにおきましては、調剤薬局最大手である株式会社アインファーマシーズ（本社：札幌市）が京阪神地区で医療モールの企画プロモーションを行うオレンジ総研株式会社と業務提携を行い、循環器科、心療内科ほか専門内科、脳神経外科など専門性の高い科目を中心とした13診療科目のクリニックを誘致し、大阪市立大学医学部附属病院「先端予防医療センター」（仮称）との病診連携を含め、高い水準の医療サービスの提供を目指します。

また、株式会社アインファーマシーズは、オフィスロビーフロアである17階において、メディカルフロアの調剤薬局機能となる「アイン薬局」を出店し、処方箋調剤とオフィスワーカーなどを対象にした一般医薬品等を販売する予定です。

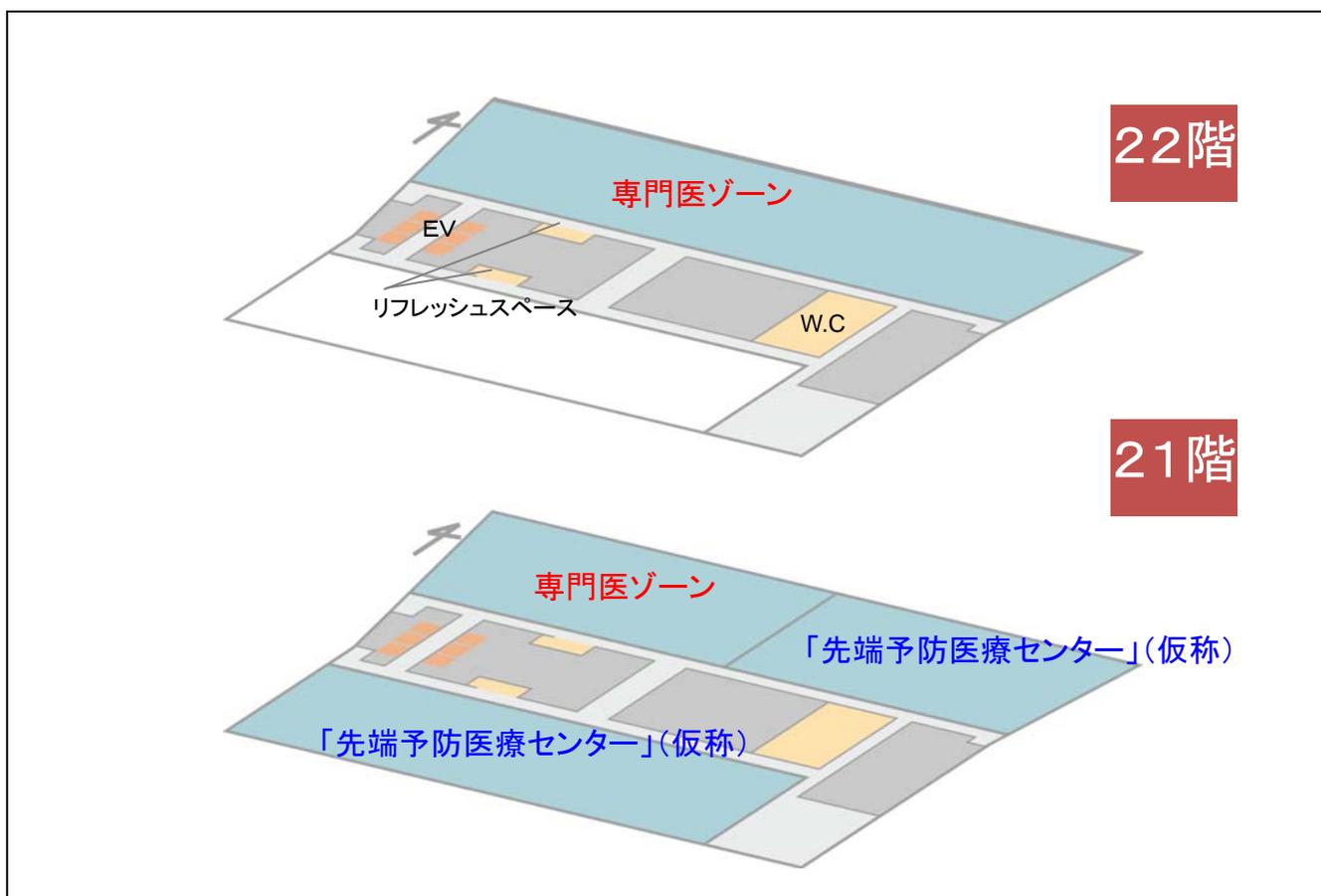
今後もあべのハルカスは、多彩な機能を併せ持つ複合ビルとして地域の利便性を高め、愛されるランドマークを目指してまいります。

(参考)

1. メディカルフロア概要

- 展開フロア あべのハルカス オフィスフロア 21階および22階の一部
- 規模 約1,200坪
- 内容(予定) 大阪市立大学医学部附属病院の「先端予防医療センター」(仮称) 約530坪
専門医13診療科目(循環器、心療内科、専門内科、脳神経外科等) 約670坪
- その他 17階に調剤および一般医薬品を取扱う「アイン薬局」が出店

2. フロア構成図



3. 「あべのハルカス」概要

所在地 : 大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43
開業予定 : 平成26年春
敷地面積 : 約28,700㎡
延床面積 : 約306,000㎡ (建設中のタワー館部分約212,000㎡)
高さ : 300m、地下5階・地上60階
フロア構成(建設中のタワー館部分)

B2-14F	百貨店 (約83,000㎡)
16F	美術館 (展示面積 約900㎡)
17・18F 21-36F	オフィス (約62,000㎡)
19・20F 38-55F 57F	ホテル (約32,000㎡)
58-60F	展望台

設計 : 株式会社竹中工務店
外観デザイン監修 : シーザー・ペリ氏 (ペリ クラーク ペリアーキテクト代表)
施工 : 竹中工務店、奥村組、大林組、大日本土木、銭高組共同企業体



「あべのハルカス」完成後イメージ

以上